

室内プールの防音対策例（残響時間調整）

対象建物は、プールとして使用されているが、安全のための放送などを行なうときに音が響き、内容が正確に伝わらない等の問題があった。このため、使用者の安全を守るためと、プールの品質を向上するために残響時間（音の響き）調整が必要となった。

当社は、建物の図面を入手後、残響時間を計算し、さらに、当社吸音材を使用した改良提案を行い、使用者の安全に確保（放送の明瞭化）とプールの品質向上を目的に室内音場の改善した事例である。

目的

- ◇ 大規模プールの室内音響環境の改良。
- ◇ 放送の明瞭化
- ◇ プールの品質向上（会話の明瞭度の向上）。



対策概要

- ◇ イーディケル M-6500（アルミ系吸音材）を天井部に 550 m² 施工。
- ◇ 施工方法；イーディケル M-6500 を天井部のモヤを利用し施工。
- ◇ 施工条件；背後空気層を 100～1000mm。



効果

- ◇ 施工前には約 3 秒（500Hz 帯）であった残響時間が施工後は理想の 1.5 秒に改良。
- ◇ 放送の明瞭化ができた。
- ◇ プールの品質向上ができた（会話の明瞭度の向上）。

